

令和7年度 前期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

目次

- 1 はじめに
- 2 全体の概要
- 3 全体の集計結果
- 4 対象となる授業一覧
- 5 資料 授業評価票（別紙1）

1 はじめに

本報告書は、令和7年度前期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。非常勤講師を含めた全教員の担当科目を対象に授業評価を行った。

授業評価アンケートは、オンライン上で実施することとし、Google フォームを利用したアンケート作成と、G Suite 上 classroom を利用してのアンケート配信を実施した。個々の授業科目ごとのデータ処理は Google フォームアンケートの機能を利用し、全体の集計は、個々のエクセルデータを統括し算出した。

今年度の授業評価アンケートは、調査項目の見直しを行い次のように変更した。総項目数は昨年度より2項目減らした11項目、新規項目として「能動的学修」「知識・技能」を追加し、「出席」「教材適正」「教育環境」「シラバス」を削除した。この度の見直しは、円滑な運用と教育の質を図るための効果的な内容を精査し実施した。

アンケート調査実施後は、今年度から自己点検レポート内容を Google フォーム利用の提出先に入力することとし、レポートの質問項目ごとの内容を集約しやすくなった。これらのことにより、授業評価を通じて内部質保証を図ることの改善対策とした。常勤教員による実施状況は、アンケート調査及び自己点検レポート作成において一定の作業効率を円滑に行うことができた。一方、非常勤講師においては、円滑な実施ができた教員と本委員のサポートの中で実施した教員と別れる結果となった。学生へのアンケート調査において、ペーパーレス化を試み、Google フォームアンケート機能の活用に展開しているが、回答率が紙媒体より低下している点は検討を講じる必要がある。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成20年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的

本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、学習に対する意欲、課外学習の状

況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクションとの 2 部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

個々の授業別結果は、回答後すぐにグラフ化されたデータを見るのが可能となり、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。全体のデータは、個々のデータをまとめた集計結果を算出し、各授業の各項目について、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを 100 から 200 字程度のレポートにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の点について自己点検することになっている。

- 1 前回と比較して、今回の授業評価結果について分析し、その結果を踏まえて、今後の授業改善に向けての具体的な取り組みを 200 字程度で記入してください。
- 2 シラバスに記載された学修到達目標に対する学生の到達度の状況を 100 字程度で記入してください。
- 3 今回の授業評価の実施方法等に関する意見があれば、ご記入ください。

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データとして学内で保管される。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

3 全体の集計結果

令和 7 年度前期の授業評価の全体の結果は、いずれの設問でも肯定的な 1・2 の回答が 71%以上を占めており、総体として評価は高いと言える。調査表件数は 1950 件である。

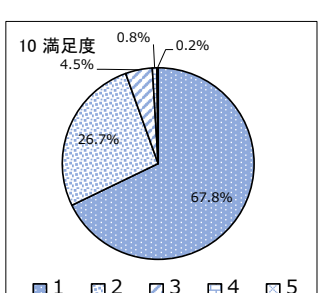
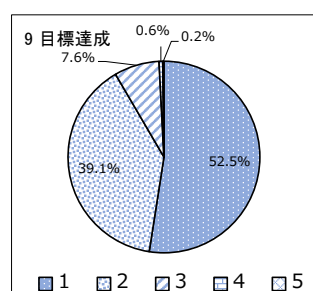
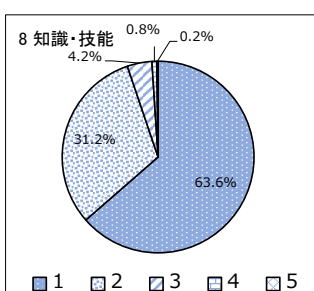
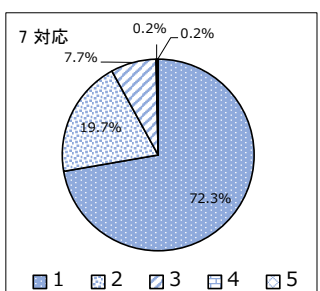
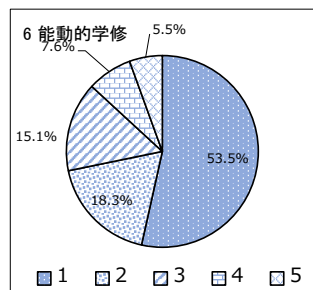
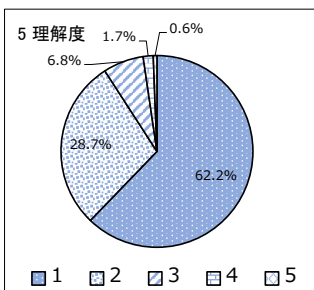
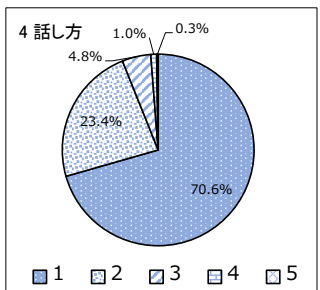
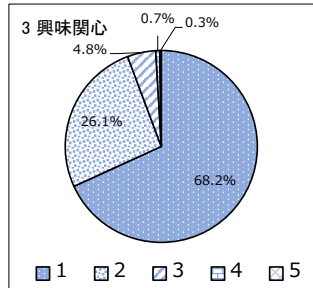
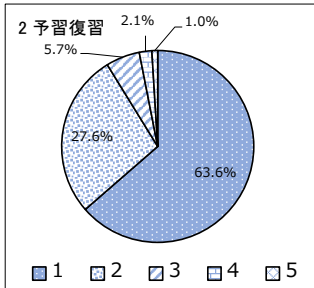
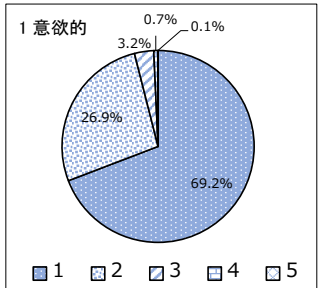
肯定的な 1 の回答が 70%代として、高かったのは「話し方」「対応」であり、次いで「意欲的」「予習復習」「興味・関心」「理解度」「知識・技能」「満足度」が 60%代となった。特に「対応」の評価が高かったことから修学環境において本学の特色である少人数制の取り組みに効果があると推測する。また、新規の

「知識・技能」も相対的に高い評価結果であった。「知識・技能」は本学の両学科および専攻科のディプロマ・ポリシーに記載されている内容であり一定の評価を次のように図ることができた。「知識・技能」の肯定的な1と2を合わせた回答が94.8%であった。これは10項目中「意欲的」に次ぐ2番目に良い評価であり、本学における教育の指針に対して修学効果があったことが読み取れる。一方、肯定的な1と2を合わせた回答が71.8%として、最も低かったのは新規の「能動的学修」であり、グループワークや発表といった内容を授業に取り入れているか否かが分かれる結果であり、今後の学修の質を検討するきっかけ作りとなった。また、10の設問すべてに中庸な3の回答を含め否定的な4・5の回答が少数であるが存在している。特に率にして高いのは「能動的学修」であり、4・5の回答が全体の13.1%(256件)の数値となった。次いで「予習復習」が3.1%(60件)の数値となり、一部の学生において継続的な修学でなかったと推測される。シラバス記載の「目標達成」に対して肯定的な1と2を合わせた回答が91.6%であったことから、総合的には目標とした修学に到達していることが分かり一定の評価があったと考える。

令和7年度前期 授業評価アンケート調査 集計結果

調査票件数: 1950

選択肢	1 意欲的	2 予習復習	3 興味関心	4 話し方	5 理解度	6 能動的学修	7 対応	8 知識・技能	9 目標達成	10 満足度
1	1347	1237	1328	1371	1213	1042	1407	1238	1022	1318
2	523	537	509	454	559	356	384	608	762	518
3	63	111	93	94	133	294	149	81	148	88
4	13	41	13	19	33	148	4	16	12	15
5	1	19	5	5	12	108	3	4	4	4
	1947	1945	1948	1943	1950	1948	1947	1947	1948	1943



4 対象となる授業一覧

〈令和7年度 授業評価調査のための授業科目番号一覧〉【前期】

科目番号	講義名	担当教員	自己点 検提出	学科
基礎科目				
1001	倉数学	全教員（濱田）	○	保育・服飾美術
1003	国語表現	全	○	保育・服飾美術
1007	数学	大原	○	保育・服飾美術
1009	経済学入門	田鹿	○	保育
1010	経営学入門	岩崎	○	保育
1011	キャリアデザイン	前田	○	保育・服飾美術
1012	情報機器の操作 I	大原	○	保育
1014	情報処理演習 I	大原	○	服飾美術
1016	英語 I（コミュニケーション）	松浦	○	保育・服飾美術
1019	英語Ⅲ	松浦	○	保育・服飾美術
1021	フランス語 I	石井	○	服飾美術
保育学科				
2001	保育原理	小久保	○	保育
2003	子ども家庭福祉	宮崎	○	保育
2004	社会福祉	宮崎	○	保育
2007	保育者論	小久保	○	保育
2009	発達心理学 I	長櫓	○	保育
2012	子どもの保健	平岡	○	保育
2016	幼児教育課程論	木戸	○	保育
2017	保育方法技術論	太田	○	保育
2018	保育内容総論	馬場	○	保育
2023	表現の指導法	濱田・児玉・野村	○	保育
2028	幼児と健康	濱田・平岡	○	保育
2029	幼児と人間関係	木戸	○	保育

2030	幼児と環境	大江	○	保育
2031	幼児と言葉	浅野	○	保育
2048	幼児と歌唱表現Ⅱ	安久津	○	保育
2049	幼児と造形表現	児玉	○	保育
2050	幼児と身体表現	濱田	○	保育
2053	乳児保育Ⅱ	三好	○	保育
2056	社会的養護Ⅱ	宮崎	○	保育
2058	保育実習Ⅰ(1)	木戸・大江	○	保育
2060	保育実習Ⅱ	木戸・大江	○	保育
2061	保育実習Ⅲ	宮崎・長櫓	○	保育
2063	保育実習法Ⅰ	木戸	○	保育
2064	保育実習法Ⅱ	木戸・植山	○	保育
2065	保育実習法Ⅲ	宮崎・長櫓	○	保育
2067	教育実習法	小久保	○	保育
服飾美術学科				
3001	生活デザイン総論	服飾美術学科全教員	○	服飾美術
3004	服飾造形論	乾	○	服飾美術
3005	服飾造形実習Ⅰ	乾	○	服飾美術
3009	服飾造形実習Ⅲ	小野(華)	○	服飾美術
3012	パターンメイキング(CAD)Ⅱ	乾	○	服飾美術
3014	服飾管理学	佐藤(希)	○	服飾美術
3015	服飾管理学実験	佐藤(希)・道明	○	服飾美術
3016	染色加工学	古濱	○	服飾美術
3017	服飾繊維学	道明	○	服飾美術
3018	服飾繊維学実験	道明	○	服飾美術
3021	服飾人間環境学	佐藤(希)	○	服飾美術
3023	服飾人間工学	佐藤(希)	○	服飾美術
3025	ファッションデザイン画	久保・光岡	○	服飾美術
3026	デニム学	川東・高杉・前田(進)・松田	○	服飾美術
3027	デニム学演習	岩尾	○	服飾美術

3029	法学入門	岡邑	○	服飾美術
3033	ファッションビジネス	岩崎	○	服飾美術
3035	消費者調査法	岩崎	○	服飾美術
3039	経済政策論	田鹿	○	服飾美術
3041	アート造形技法演習Ⅰ	趙	○	服飾美術
3042	アート造形技法演習Ⅱ	趙	○	服飾美術
3044	テキスタイルデザインⅠ	田中	○	服飾美術
3045	テキスタイルデザインⅡ	田中	○	服飾美術
3046	CG基礎演習	竹島	○	服飾美術
3047	クリエイション論	上村	○	服飾美術
3049	ライフスタイルデザイン演習	上村	○	服飾美術
3052	カラーコーディネート論	高橋（俊）	○	服飾美術
3053	染織Ⅰ	田中	○	服飾美術
3056	ビジュアルデザインⅠ	ウォルトン	○	服飾美術
3057	ビジュアルデザインⅡ	竹島	○	服飾美術
3060	基礎デッサン	野村	○	服飾美術
3061	人体デッサン	野村	○	服飾美術
3063	店舗空間演出演習	南川		服飾美術
3065	基礎デザイン	稲葉	○	服飾美術
3066	空間デザイン演習	関崎	○	服飾美術
3067	インターンシップⅠ	服飾美術学科全教員	○	服飾美術
専攻科・ 関連科目				
4001	情報処理論	大原	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4002	国語表現法演習	全	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4003	スポーツⅠ	濱田	○	保育臨床専攻
4007	立体制作論	稲葉	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4009	色彩学	小田	○	服飾美術専攻
4010	ビジュアルアート論	徳山	○	服飾美術専攻
4013	ドローイングⅠ	野村	○	服飾美術専攻
保育臨				

床専攻				
5007	音楽指導法特別演習Ⅱ	野村	○	保育臨床専攻
5009	造形指導法特別演習Ⅱ	児玉	○	保育臨床専攻
5011	劇指導法特別演習	浅野	○	保育臨床専攻
5012	教育の思想と歴史	小久保	○	保育臨床専攻
5014	特別支援教育特論	眞次	○	保育臨床専攻
5015	子どもの人権教育論	小久保	○	保育臨床専攻
5016	発達心理学特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5017	教育相談特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5021	幼児の国際理解演習	松浦	○	保育臨床専攻
5024	乳児保育特論	平岡	○	保育臨床専攻
5029	子育て支援特論	眞次	○	保育臨床専攻
服飾美術専攻				
6003	パターンメイキング論	乾	○	服飾美術専攻
6005	服飾造形実技Ⅱ	江口	○	服飾美術専攻
6015	繊維・ファッション産業論	田鹿	○	服飾美術専攻
6016	地域経済論	田鹿	○	服飾美術専攻
6018	流通論	岩崎	○	服飾美術専攻
6024	アート演習Ⅰ	趙	○	服飾美術専攻
6025	アート演習Ⅱ	趙	○	服飾美術専攻
6027	テキスタイルデザイン演習Ⅰ	田中	○	服飾美術専攻
6028	テキスタイルデザイン演習Ⅱ	田中	○	服飾美術専攻
6031	衣服論	上村	○	服飾美術専攻
6034	ライフプロダクト演習Ⅱ	上村	○	服飾美術専攻
6035	空間演出演習	関崎	○	服飾美術専攻
6036	産業研修Ⅰ	服飾美術学科全教員	○	服飾美術専攻

5-1 授業評価票（別紙1）

2025 前期 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生みなさんの学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的としています。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。なお、回答はすべて統計的に処理され、プライバシーが損なわれたり、本学での生活に不利益が生じたりすることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・ 授業評価への回答は、5～10分で終わります。
- ・ 授業評価への回答は自由意思によります。回答しなくとも不利益を被ることはありません。
- ・ 無記名でメールアドレスの収集もしないため、個人が特定されることは一切ありません。
- ・ 結果の管理は厳重に行い、保管する必要がなくなった時点で完全に破棄します。
- ・ 集計結果は、学内向けに公表する予定です。

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

授業科目名：○○○○

科目番号：○○○○

回答期限：令和・年・月・日（ ）まで

(1) あなたは、この授業に意欲的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 意欲的に取り組んだ
2. どちらかというと、意欲的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、意欲的に取り組まなかった
5. 意欲的に取り組まなかった

(2) あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 積極的に取り組んだ

2. どちらかという、積極的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかという、積極的に取り組まなかった
5. 積極的に取り組まなかった

(3) あなたは、授業を受けてみて、この分野への興味・関心が深まりましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 興味・関心が深まった
2. どちらかという、興味・関心が深まった
3. どちらともいえない
4. どちらかという、興味・関心が深まらなかった
5. 興味・関心が深まらなかった

(4) 教員の話し方は、明瞭でわかりやすいものでしたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切だった
2. どちらかという、適切だった
3. どちらともいえない
4. どちらかという、適切ではなかった
5. 適切ではなかった

(5) 授業の内容は、わかりやすく理解しやすかったですか。

(1 つだけマークしてください。)

1. わかりやすく理解しやすかった
2. どちらかという、わかりやすく理解しやすかった
3. どちらともいえない
4. どちらかという、わかりにくく理解しにくかった
5. わかりにくく理解しにくかった

(6) 教員は、授業で能動的学修（グループワークや発表など）を取り入れていましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 取り入れていた

2. どちらかというと、取り入れていた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、取り入れていなかった
5. 取り入れていなかった

(7) 教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切に対応してくれた
2. どちらかというと、適切に対応してくれた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、不適切な対応だった
5. 不適切な対応が多かった

(8) あなたは、この授業を通じて、知識や技能などを習得できましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 習得できた
2. ある程度習得できた
3. どちらともいえない
4. あまり習得できなかった
5. 習得できなかった

(9) あなたは、シラバスに記載されている到達目標を達成できましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 達成できた
2. ある程度達成できた
3. どちらともいえない
4. あまり達成できなかった
5. 達成できなかった

(10) あなたは、総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 満足した

2. どちらかというと、満足した
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、満足していない
5. まったく、満足していない

(11) この授業の方法や取り組みで、良いと思った点や改善点があれば書いてください。ただし、教員個人に対する誹謗中傷は、記入しないでください。

2026年3月25日

倉敷市立短期大学 令和7年度 大学活動推進委員会

保育学科 : 松浦 加寿子, 宮崎 正宇

服飾美術学科 : 趙 採沃, 上村 晴彦, 田中 孝明

事務局 : 清水 綾子

編集担当 : 田中 孝明, 松浦 加寿子